

# 全国

# ギフチョウ・ヒメギフチョウ 保全シンポジウム

2007年1月20日(土)

10:00-16:30

岐阜市文化センター(岐阜県)

里山の自然環境保全のシンボルと  
なっているギフチョウ。

「春の女神」とも呼ばれ、もっとも  
親しまれているチョウの一つです。

この美しいチョウを守ろうと、こ  
れまで日本各地で保全活動が行わ  
れてきました。

今回、ギフチョウ類や里山環境の  
保全の今後を話し合う場を企画  
しました。

ギフチョウの保全活動に取り組ん  
でいる方はもちろん、チョウ類や  
身近な自然に興味のある方、里山  
や自然環境の保全に関心のある方  
など多くの方々のご参加をお待ち  
しております。



ギフチョウ

*Luehdorfia japonica*

春一番早くサクラの咲く頃にだけ姿を現します。

日本にだけ生息する特産種で、その美しさから古くより人気を集めてきました。

岐阜県で発見されたことにちなみ、「ギフチョウ」と名づけられました。



ヒメギフチョウ

*Luehdorfia puziloi*

ギフチョウよりやや寒い場所に生息しているチョウです。5月頃、北国に遅い春が訪れると同時に現れます。

ギフチョウよりやや小型で、後翅(はね)の縁の紋は黄色となりまこやしす。朝鮮半島などにも分布しています。

主催：特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会

後援：岐阜県・岐阜市・(財)岐阜観光コンベンション協会\*

※助成を受けています。



独立行政法人環境  
再生保全機構地球  
環境基金の助成を  
受けて開催します

## 開催の趣旨

ギフチョウ、ヒメギフチョウは、春一番に現れる小型のアゲハチョウで、その美しさから、愛好家だけでなく、一般の方々にもよく名を知られたチョウです。しかし、個体数が減少したり、絶滅した地域も増えつつあります。環境省のレッドデータブック（絶滅のおそれのある生物をまとめた本）にも掲載され、保全のための活動が各地で行われるようになってきました。

全国で行われているギフチョウ、ヒメギフチョウの保全の現状を紹介し、保全とは何か？ 里山全体の生物の保全をどうすすめていくか？ また、それを地域の活性化に結びつけるためにどのような工夫がなされているか？ そうしたテーマについて考える場として、本シンポジウムを開催します。

チョウ・里山など、広く自然に関心のある方のご参加をお待ちしております。

## 開催内容

### ■タイムスケジュール

9:30 開場

#### (1) ギフチョウとは？ 10:00～

ビデオ上映／ギフチョウ・ヒメギフチョウ

講演／ギフチョウ・ヒメギフチョウはどんなチョウか？ 藤井 恒（京都学園大学非常勤講師）

講演／里山とギフチョウ 永幡嘉之（日本チョウ類保全協会理事）



#### (2) ギフチョウ・ヒメギフチョウの保全 ー生態学的な視点からー 11:30～

講演／ギフチョウの産卵密度に対する二次林の植生管理の効果 須賀 丈（長野県環境保全研究所）

講演／ギフチョウ個体群の構造と生息環境および密度変動 松本和馬（森林総合研究所）

講演／ギフチョウ地域個体群のカンアオイ選好性 本田計一・渡辺一雄（広島大学総合科学部）

#### (3) ギフチョウ類保全の実践例 13:30～

報告／神奈川県藤野町のギフチョウ 高桑正敏（神奈川県立生命の星・地球博物館）

報告／群馬県赤城山のヒメギフチョウー住民参加の下草刈り活動ー 松村行栄（赤城姫を愛する集まり）

報告／岐阜県のギフチョウ保護 鈴木俊文（ギフチョウの翔ぶ里山の自然を考える会）

報告／伊賀地方におけるギフチョウの保護活動 加納康嗣（伊賀ふるさとギフチョウネットワーク）

報告／飯山市黒岩山のギフチョウ属の保護活動 石井 智（ギフチョウ研究会）

報告／愛知県猿投山における里山とギフチョウの保全活動 大島昌平（愛知県猿投里山会）

報告／兵庫県加古川市におけるギフチョウの保全 竹内 隆（加古川の里山・ギフチョウ・ネット）

#### (4) パネルディスカッション 15:20～ これからのギフチョウをシンボルとした里山の保全にむけて

4:30 閉会

○ポスター発表がギフチョウ、ヒメギフチョウの保全団体より多数行われる予定です。



## 特定非営利活動法人（NPO 法人）日本チョウ類保全協会とは？

2004年6月に発足し、チョウ（蝶）をシンボルとして、自然環境の保全をすすめています。

絶滅の危機にあるチョウ類の保全活動やチョウ類の調査を進めているほか、チョウ類の保全に関する広報・啓発活動なども幅広く行っています。

現在会員数は約350名で、チョウの好きな方や自然の写真愛好家、自然保護活動へのご賛同される方々など全国の方々が参加されています。ご興味・ご関心のある方はぜひ、ご入会ください。

## お申し込み

■参加費：一人1,000円（高校生以下は無料） ■会場：岐阜市文化センターは JR 岐阜駅より徒歩7分です

■申込方法：郵送、FAX、E-mailにて、「シンポジウム申込」と明記の上、氏名・性別・所属・住所・電話・E-mailを下記問い合わせ先までお申し込みください。

■申し込み締切：当日参加も可能ですが、なるべく事前にお申し込みください。

## お問い合わせ先

■特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会（担当 松村・中村・永幡）

215-0017 神奈川県川崎市麻生区王禅寺西 3-12-27-301

TEL 044-954-5848/080-5127-1696 FAX 044-954-5848

E-mail:butterfly-conservation@japan-inter.net <http://japan-inter.net/butterfly-conservation/>



写真提供 杉浦宗規、永幡嘉之、松村行栄、中村康弘